

2. 館年表

2.1. 再編整備決定から開館まで

1986年	12月	第二次新神奈川計画において、博物館の再編整備が決定	1992年	4月	組織改正により生涯学習部博物館開設準備室となり、企画調整班、自然系整備班、人文系整備班、展示・資料整備班の4班体制となる
1988年	7月	神奈川県立自然系博物館（仮称）を小田原市入生田に建設することが決定	6月	第二期造成工事着手	
	12月	神奈川県立博物館整備構想懇談会（座長：渡邊 格（慶応義塾大学名誉教授））から提言	8月	博物館情報システム開発プロポーザル実施	
1989年	3月	神奈川県立自然系博物館（仮称）整備計画策定 神奈川県立自然系博物館（仮称）展示計画策定	10月	博物館情報システム開発調査設計着手 自然系博物館（仮称）建築工事着手 自然系博物館（仮称）展示工事着手	
	4月	教育庁社会教育部社会教育課に博物館建設準備班を設置	1993年	4月	博物館情報システム開発着手
	11月	神奈川県立自然系博物館（仮称）資料収集委員会（委員長：上田誠也（東京大学名誉教授））発足	6月	第三期造成工事着手	
	12月	展示設計プロポーザル実施 展示基本設計着手	1994年	6月	第四期造成工事着手
1990年	2月	建築設計プロポーザル実施 建築調査設計着手	12月	自然系博物館（仮称）建築工事竣工 神奈川県立博物館条例一部改正	
	3月	自然系博物館の建設事業が、小田原市との協調事業となる 神奈川県立自然系博物館（仮称）資料収集計画策定 博物館情報システム整備計画策定	1995年	1月1日	神奈川県立生命の星・地球博物館が機関設置され、管理部に管理課、経理課、企画情報部に企画普及課、情報資料課及び学芸部の3部4課を置く
	9月	博物館情報システム実施計画策定	3月	博物館法第11条の規定に基づく登録博物館となる	
	10月	建築基本設計着手		生命の星・地球博物館展示工事竣工	
1991年	3月	自然系博物館（仮称）建設用地（小田原市入生田）取得	3月20日	開館記念式典実施	
	4月	組織改正により教育庁社会教育部社会教育課が、生涯学習部生涯学習課となる	3月21日	一般公開開始	
	10月	第一期造成工事着手 建築実施設計着手 展示実施設計着手			

2.2. 開館から2022年度末まで（資料収集・調査研究事業を除く）

1995年	3月21日	一般公開開始	1998年	1月30日	日本古生物学会1998年年会(2月1日まで)
	4月29日	開館記念講演会「地球を歩いてみませんか」濱田隆士・中雄一	3月21日	開館3周年記念事業「生命の星・地球フェスタ'98」(3月29日まで)	
	5月7日	入館者10万人到達(開館41日目)	3月30日	天皇后両陛下下行幸啓	
	6月22日	紺綬褒章の伝達式(櫻井都美子・小泉明裕)	4月4日	日本動物分類学会第34回大会(4月5日まで)	
	9月6日	ジブチ共和国大統領ご視察	8月26日	日本第四紀学会1998年大会(8月28日まで)	
	9月24日	入館者30万人到達(開館158日目)	9月12日	中国遼寧省友好代表団来館	
	11月10日	神奈川県博物館協議会(2001年まで毎年実施)	11月3日	入館者150万人到達(開館1,090日目)	
1996年	3月20日	開館1周年記念講演会「自然史(誌)系博物館の位置づけ」沼田 眞・中川志郎・濱田隆士	1999年	3月20日	「トーキングサイン・ガイドシステム」発表会
	4月	シンボルマーク製作	8月4日	中国科学院南京地質古生物学研究所所長ほか視察	
	4月17日	入館者50万人到達(開館321日目)	11月6日	日本蜻蛉学会大会(11月7日まで)	
	6月1日	学習指導員による団体サービス(ガイダンス)	11月12日	天皇陛下ご在位10周年慶祝事業 無料公開	
	9月	ガイダンスビデオ製作	11月14日	みなかんネットワーク大会	
1997年	3月1日	エントランスガイダンス開始	11月27日	常設展示化石標本3点の盗難を確認	
	3月20日	開館2周年記念講演会「3年目を迎える博物館の新しい活動・博物館をこんなふうを利用してみませんか」浜口哲一・濱田隆士	12月9日	常設展示化石標本10点の盗難を確認	
		バリアフリー音声ガイドサービス開始	2000年	3月20日	開館5周年記念講演会「博物館は宝の山!」
	3月21日	日本植物分類学会第27回大会(3月23日まで)	3月23日	Xu Daosheng(湖北省博物館)・Jang, Sang-Hoon(韓国国立中央博物館)ほか視察	
	5月10日	生命の星・地球博物館友の会発足	3月31日	濱田隆士館長退任	
	7月23日	入館者100万人到達(開館705日目)	4月1日	青木淳一館長就任	
	10月17日	WESKAMS ミュージアム・リレーを開始	5月13日	日本土壌動物学会第23回大会(5月14日まで)	
	11月15日	日本鞘翅学会第10回記念大会(11月16日まで)	8月6日	入館者200万人到達(開館1,613日目)	
			10月6日	2000年度日本魚類学会年会(10月9日まで)	
			10月15日	200万人達成記念展示「写真コンテスト応募作品」	

2001年

- 3月20日 開館6周年記念講演会「自然史(誌)を楽しむ～いま箱根の自然は～」
- 3月27日 神奈川県博物館協議会を廃止
- 4月15日 青木淳一館長が南方熊楠賞を受賞
- 10月19日 中国遼寧省職員視察
- 11月9日 ミュージアム・リレー第50走達成記念講演会
- 11月22日 ミュージアム・リレー第50走達成記念シンポジウム
- 11月23日 日本蜻蛉学会(11月25日まで)

2002年

- 2月21日 博物館課題研究会「博物館のめざすべき方向」
- 3月19日 箱根フリーパス対象施設に参加
- 3月21日 開館7周年記念シンポジウム「触まれるかながわの生物」
- 7月19日 入館者250万人到達(開館2,206日目) 250万人達成感謝ウィーク
- 7月21日 「自然を楽しむみち」案内板贈呈式

2003年

- 1月30日 博物館課題研究会「博物館の独立行政法人化の動きと現状について」
- 3月11日 全国科学博物館協議会総会(3月12日まで)
- 3月21日 ミューズ・フェスタ(開館記念事業として、以降毎年実施)
- 3月28日 青木淳一館長が小田原城下町大使に就任
- 7月20日 夏休み期間中、17時30分まで開館時間延長(2004年まで実施)
- 8月2日 日本蘚苔類学会(8月3日まで)

2004年

- 3月9日 博物館課題研究会「博物館評価の現状とその実例について」
- 5月25日 入館者300万人到達(開館2,770日目)
- 11月20日 日本鞘翅学会第17回大会(11月21日まで)

2005年

- 3月8日 博物館課題研究会「指定管理者制度とその導入の動向について」
- 7月18日 夏休み中無休開館期間(以降、毎年実施)

2006年

- 1月14日 ミュージアム・リレー第100走達成記念行事(1月15日まで)
- 3月23日 博物館課題研究会「指定管理者の指定を受けて」
- 3月31日 青木淳一館長退任
- 4月1日 管理部と経理課が廃止され、管理課、企画情報部の企画普及課、情報資料課及び学芸部の2部3課となる。齋藤靖二館長就任
- 7月8日 入館者350万人到達(開館3,409日目)
- 11月12日 自然史学会連合講演会「教科書で学べない自然史」

2007年

- 2月28日 全国科学博物館協議会理事会総会
- 3月30日 博物館課題研究会

2008年

- 3月11日 博物館課題研究会
- 3月22日 子ども自然科学作品展(以降毎年実施)
- 8月12日 入館者400万人到達(開館4,062日目)

2009年

- 3月10日 博物館課題研究会「展示照明の現状と課題」

2010年

- 10月21日 入館者450万人到達(開館4,863日目)

2011年

- 3月13日 ミューズ・フェスタ2011(東日本大震災により中止)

2012年

- 8月3日 入館者500万人到達(開館5,183日目)

2013年

- 8月22日 世界の動物切手コレクション寄贈(功刀欣三様)
- 10月8日 天皇陛下行幸啓(特別展天覧)
- 11月29日 奥村定一昆虫コレクション寄贈(奥村哲子様)

2014年

- 1月13日 入館者550万人到達(開館5,716日目)
- 3月19日 貝類標本コレクション寄贈(名倉菊江様)
- 3月31日 齋藤靖二館長退任
- 4月1日 平田大二館長就任、齋藤靖二名誉館長就任
- 7月7日 林原自然科学博物館教材・教育用標本一式寄贈(株式会社林原メセナセンター)
- 9月11日 メソサウルス類化石・ダウリアチョウザメ本剥製・アラスカ産オオカミ本剥製寄贈(三浦菊男様)

2015年

- 3月15日 開館20周年記念シンポジウム「自然史系博物館のあるべき姿と評価軸ー生命の星・地球博物館の活動からー」
- 8月29日 入館者600万人到達(開館6,190日目)
- 10月31日 今関細密画コレクション寄贈(今関士郎様)

2016年

- 3月16日 子ども自然科学作品展会期を延長(5月8日まで)活動報告展の休止

2017年

- 5月3日 入館者650万人到達(開館6,667日目)

2018年

- 10月26日 入館者700万人到達(7,104日目)

2019年

- 2月24日 天皇陛下ご在位30周年慶祝事業 無料公開
- 5月1日 天皇御即位慶祝事業 無料公開
- 10月22日 即位礼正殿の儀 無料公開

2020年

- 3月4日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(6月30日まで)
- 11月5日 入館者750万人到達(7,594日目)

2021年

- 1月12日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(3月22日まで)
- 3月22日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館を継続(ただし事前に予約をされた方に限り入館可能)
- 10月25日 通常開館

2023年

- 3月31日 齋藤靖二名誉館長退任